## で戦争 暴挙を許し

## 的自衛権の行使容認

## 閣議決定」撤回を!

日南町議会は6月定例会(6月27日)で、「集団的自衛権の行使容 認に反対する意見書」を全員一致で議決し、国に提出しました。

しかし安倍自公政権は7月1日、国民多数の反対を無視し、集団 的自衛権の行使容認を「閣議決定」で強行しました。これは、憲法 破壊のクーデターであり許されません。



「戦地派兵」を可能にしたら、必ず攻撃の対象に

「戦闘地域に行かせない」の歯止めをはずし、

自衛隊

 $\mathcal{O}$ 

使して参戦したNAT

をだしています。

日本に対する武力攻撃がなくても **圏止めなき、武力行使の新3要件** 

武力行使ができることに 明白な危険」があれば、他国のために があります。「必要最小限」といっても、存で、海外での武力行使がどこまでも広 政府は「限定的」といいますが、 1使にふみきれば、反撃を招き、際限のないます。「必要最小限」といっても、いったん海外での武力行使がどこまでも広がる危険には・限定的」といいますが、時の政権の一点は

戦後日本のあり方を否定し、 殺さず、一 れる国」にしていいのか 自衛隊は3年間、他国の人を一人 人の戦死者もださなかった。 殺し殺さ も

こと、 米国の戦争のために、日本の若者の 日本の失うものは計り知れません。 他国の人に銃口を向けることに。 血を流す

党だけの密室協議で解釈改憲。 国民の声に耳をかさず、国会審議もなく 憲法破壊のクー デター であり許されない 与

暴挙です。 80度転換するなど、 一片の「閣議決定」で、 立憲主義を否定する 従来の政府見解を

戦争か平和か 良識ある国民 戦争する国」 の声で への暴走に

恒久

平和

発行・日本共産党日南町支部 発行責任者・久代安敏 住所・日南町神戸上 2558 電話・FAX 83-0645

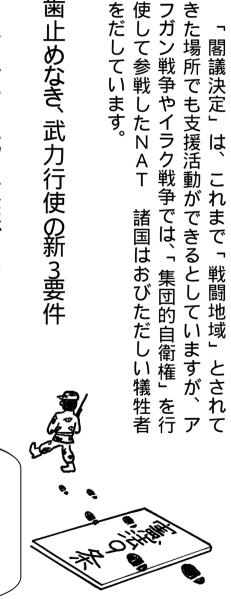
日本共産党日南町支部の見解を紹介します。

日南町では毎年、686 名の戦没者追悼式を行ない「不 戦の誓い」をします。戦後 69 年目の被爆の夏をむかえ 戦争も核兵器もない世界の実現のために外交努力 することこそ政治の責任です。

武力行使にふみきれば、反撃を招き、

戦争の泥沼に陥ることになってしまいます。

自衛隊父兄会・佐賀県副会長の古里昭彦さん(唐津市) も「今の憲法のもとで、集団的自衛権には反対だ。紛争 地に子どもが行く可能性もある」と述べています。



にちなん地域 Lhish

2014年7月5日NO.55